

にしお 市議会だより

～あなたの気づきが明日のNISHIOをつくる～

2023
11 月号

No.152

〔編集・発行〕
西尾市議会
〒445-8501
愛知県西尾市寄住町下田22
TEL:0563-65-2182(直通)



表紙に掲載する写真を
募集しています！
詳しくは15ページを
ご覧ください。

9月定例会を9月1日から28日まで28日間の会期で開催しました。
9月4日、5日、6日には、18人の議員が市政について一般質問をしました。

CONTENTS

一般質問……………	1	審議結果……………	13
トピックス……………	10	編集室……………	14
決算認定……………	11	お知らせ……………	15

にしお市議会だよりは
西尾市役所ホームページ
でも見るすることができます。



一般質問 Q & A



新政令和
渡辺 信行
議員

熱中症対策は

Q 注意喚起はどのようか。
A 西尾市LINE公式アカウントや市ホームページでの具体的な予防方法の掲載、予防リーフレットの配布にて行っている。

Q 学校での対策はどのようか。

A 部活動や体育の授業・行事等において、活動の前と活動中に暑さ指数を測定している。また、活動前後に健康状態の把握と共に水分補給の習慣化に努めている。さらに、登下校中に気分が悪くなった場合は、近くの大人に助けを求めるといった指導している。



Q 学校の特別教室の冷房機設置を令和4年度から9年度までで計画的に進めているが、遅い学校は4年後となるので前倒しで設置しないか。
A 校舎等増改築事業など大型事業を進めており、また、学校施設の長寿命化事業や体育館トイレの洋式化事業などがあるため前倒しすること



詳細は
スマホで
チェック!



は考えていない。

Q 令和9年度までの冷房機設置計画について教育長の思いは。

A 令和9年度を完了目標とするとは、やむを得ないと考えている。

犯罪発生状況と対策は

Q 犯罪の発生状況はどのようか。

A 前年より増加しており、侵入盗が最も多く、次いで自転車盗、万引きとなっている。

Q 犯罪の防止対策はどのようか。

A パトロールカーでの巡回や防犯啓発活動等を実施している。また、町内会への防犯灯や防犯カメラの設置費補助や特殊詐欺対策電話機の購入補助をしている。市民等による活動として、スクールガードや子ども110番の家、パトランがある。地域で安全なまちをつくるために、近所の顔の分かる付き合いや交流を促すなどコミュニケーションの活性化を図ることが大切と考える。



西尾みらい
磯部 雅弘
議員

選挙結果を早く知りた い！との声

Q 投票時間を繰上げた場合のメリット・デメリットは。

A メリットとしては、人件費の削減、投票立会人や投票事務従事者の業務負担の減少、選挙結果報告も早まる可能性がある。デメリットとしては、選挙人に対して、投票する機会を減らすことになり、投票率が下がる可能性がある。

Q 投票時間の繰上げは、当日選挙に携わる市職員の業務負担の軽減や人件費の削減というメリットがあると考えますが、働き方改革や行財政改革を推進する担当課の見解は。

A 投票事務に従事する職員の長時間労働の是正が図られるとともに、開票事務に従事する職員の深夜における勤務への負担軽減につながり、働き方改革の趣旨に添うと考える。また、人件費の削減という点では、全体の労働時間が圧縮されるので歳出削減につながり、行財政改革の観点からも効果が期待できる。



詳細は
スマホで
チェック!



Q メリットを認識しているのならば、積極的に改善すべきでは。

A 選挙事務を所管する選挙管理委員会が判断を行うものと考えている。

Q 選挙管理委員会が最終的な判断を行うことが、縦割りの弊害と考える。選挙結果を早く知りたいという市民の声は多いと推察するが、投票時間の繰上げも一つの手段と思うが、選挙管理委員会の考えは。

A 市民の方から選挙結果を早く知りたいという声もあるが、選挙人に対して、投票する機会を減らすことにつながると考える。

Q 愛知県に伺いを立てるばかりでなく、財政的な危機感を持ちながら、投票時間の繰上げを県内初として実施すべきと考えるが、選挙管理委員会の見解は。

A 都道府県によって、投票時間の繰上げを全体の90%以上実施している県もあれば、全くしていないところもある。これだけ考え方が異なる状況下において、法の解釈やそれぞれのメリット・デメリットを見極めつつ、国・県・近隣市町の動向を注視し、今後の検討課題として考えていく。

一般質問 Q & A



公明党西尾市議団
大塚 久美子
議員

子宮頸がん撲滅へ

Q 男性のヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン接種対象者数はどのようなか。また、接種率を仮に2%と見込み、全額補助とした場合の費用はどうか。

A 定期接種対象の小学校6年生から高校1年生相当までの年齢の対象者数は、4471人。2%にあたる89人が4価のワクチンを3回接種した場合の1人当たりの金額は5万1678円。全額を補助した場合は約460万円となる。

Q 男性のHPVワクチン接種費用を助成しないか。

A 国の動向に注視しつつ、まずはワクチン接種の効果が高い女性の接種率向上に向けて取り組んでいくので、男性への助成は考えていない。

「奨学金返還支援制度」の推進を

Q 奨学金返還に苦しんでいる若者の負担を軽減するとともに、地方創生の観点から若者の地方定着を促す「奨学金返還支援制度」に取り組まないか。

A 奨学金支援制度をはじめ、未来を担う人材の定着につながる施策は地方創生を推進する上で重要であるが、期間途中に要件を満たさなくなるケースが多数ある調査結果から、地域や若者の事情やニーズを踏まえ、調査・研究を進める。

大規模災害時に、活動を支援する「西尾市消防活動支援隊員」の確保を

Q 大規模災害時に膨大なニーズが発生するため、西尾市消防支援隊員の新たな人員確保を考えないか。

A 消防活動における知識、技術と経験を兼ね備えた消防職団員OBによる大規模災害時の活動支援は大変心強い。さらなる登録者数の増員を目指し、支援隊員設置以前に引退した消防職団員OBに対し、再度、登録を働きかける。



詳細は
スマホで
チェック!



新政令和
松井 晋一郎
議員

マイナンバーカード申請手続きの柔軟な対応を

Q 施設入所や長期入院している方を対象とした出張申請サポート体制が必要と考えるが見解は。

A 現在、出張申請の方法を見直している。改めて案内していく。

Q 出張申請サポートの方法はどのようなか。また、いつ頃から始めるのか。

A 人数制限をなくし、入所施設だけでなく、個人宅にも訪問して申請できるようにするとともに、事前に日時調整等を行い、申請書や必要書類については当日、職員が持参するなど負担のかからない方法を検討する。また、10月に開始できるように、9月中には介護施設や障害福祉サービス事業所へ通知する。

フードバンク・子ども食堂の利活用で福祉のまちづくりを

Q 現在、市内大手コンビニエンスストアチェーン店による大規模なフードバンクへの連携支援が展開さ

れているが見解は。また、食材の輸送・保管等での課題や同活動への行政による必要とされる支援策等についての見解はどうか。

A 10月には市内全32店舗に達する見込み。身近なコンビニエンスストアと協力した食料品等の支援やSDGsの目標達成に向けた食品ロス削減の取組など、フードバンクの果たす役割は大きいと考えており、市も3支所に寄附ボックスを設置し協力している。安定的に継続できるように財政面も含め、西尾市社会福祉協議会と協議していく。

介護人材確保への取り組みを

Q 市内介護事業所で働いている方を対象に、資格取得費用や研修費用の補助など、さらなる事業所支援に向けた協議を早急に始めないか。

A 質の高い介護現場の醸成と人材確保のために大切である。支援策を研修費用などを考慮しながら、第9期計画策定の中で検討していく。



詳細は
スマホで
チェック!



一般質問 Q & A



日本共産党西尾市議員
前田 修

佐久島の島民要望への対応は

Q 生ごみ処理機の故障で島民の不満の声は大きい。島民の負担軽減のため、非常勤職員などの配置を検討しないか。

A 島民でできること、行政のすべきことを考え、支援を検討したい。

Q 島への定住・移住促進のための優遇策は。また、島の子どもの渡船料を無料にしないか。

A 現在、空き家の改修費用の補助制度を検討している。島の子どもの渡船料の無料化については、できるだけ早い時期に対応していきたい。

道の駅「たしお岡ノ丘」の改善を

Q 地元生産者より、仲買による市外の商品が優遇されるような配置となっていないか。そもそも、地元の農産物の梨が、店の中に陳列され、店の外には、仲買による豊田市の梨が販売されており、競合するような



詳細は
スマホで
チェック!



販売をすべきではないと考えるが。

A 安定的な運営のためと思われるが、その件も一度話をしていきたい。

Q 市は、道の駅の指定管理者への指導監督責任を果たすべきと思うがどうか。

A 現状を確認し指導も行い、改善に努めていく。

学校にエアコン、公園に水遊び場を

Q 市は令和9年度をめどに特別教室を終え、その後の体育館のエアコン設置のめどが立っていない。早急に進めるべきだが、近隣市の状況はどうか。

A 西尾市を除く西三河8市では、特別教室も今年度中に完了する。

Q 近隣市にあるような水遊びのできる公園の整備を進めないか。また、遊ぼう茶広場への設置はどうか。

A 夏の暑さは今後も続くことが予想され、整備による効果や整備方針を検討していきたい。遊ぼう茶広場の指定管理者と意見交換をしていきたい。



無所属
佐々木 映美

国の無形民俗文化財である三河万歳を継承していくために

Q 現在、西野町小学校御殿万歳部が伝承活動の中心となっているが、部活動の縮小や少子化の影響もある。今後の活動をどう考えるか。

A 部活動自体は縮小傾向にあるが、御殿万歳部のように地域とのつながりが深い活動は、学校の裁量で継続が可能。また、少子化ながら三河万歳を学びたい児童は多い。しかし、大人の指導者の確保とその方法の確立が活動継続の一番の問題である。

Q 安城市や幸田町のように、大人の演者を増やし、活動していく必要があると考えるがどうか。

A 安定した継承のためには、保存会活動の中心となる大人の演者が不可欠である。御殿万歳部は多くの卒業生を輩出しているため、今後は卒業生の中から、万歳部の指導や保存会の担い手として活動していただける方を探するなど、保存会として自立した活動ができるように援助していきたい。

Q 同じく国指定を受けている2市



詳細は
スマホで
チェック!



1町で話し合い、3市町で共に盛り上げていくことを考えないか。

A 国指定30周年を迎える令和7年度に向けて、既存映像の周知を拡大するとともに、安城市・幸田町の保存会と連携した公演会の開催を企画し、機運を盛り上げていきたい。

生涯学習センター（仮称）を効果的な公共施設再配置にするために

Q 現在の中央ふれあいセンター及びにしお市民活動センター・アクティにしおの運営費と、生涯学習センター（仮称）の運営費はどのようか。

A 現在の2施設の運営費は4800万円。生涯学習センター（仮称）は、いまだ正確な積算を行っていないが5千万円程度と見込んでいる。

Q あゆみ学級やコンパスが入る同じ施設内に、室内の遊び場も計画されているとのことだが、子どもたちへの配慮はどのようか。

A 設計要件として、基本的に利用者の動線が交わらないように違うフロアに配置したり、一定の距離を設けたりするような配慮を求めている。

一般質問 Q & A



無所属
中村 眞一
議員

投げ出されたPFI事業

Q 特定建築物の所有者等は、厚生労働省令の定めにより「環境衛生上必要な事項を記載した帳簿等を備えなければならない」とされているが承知しているか。

A 承知している。帳簿書類は所管課で備えている。

Q 市役所の維持管理に関する帳簿はあるか。

A 確認していないが、備えてある。

Q 一色B&G海洋センタープール解体工事を行う際、市長は「二重契約には当たらない」と説明してきたが、住民訴訟では「二重契約」と認定され、また「契約は事業契約書第15条3項の業務要求水準書の変更に可能」と説明してきたが、判決では「変更できない」と認定された。市民への説明は行つたのか。

A この訴訟の判決は、部会報告と広報にしてお披露している。

Q 合併による重複施設を整理し、目的達成の指標数値は設定されていたのか。現在もその必要性や目標数



詳細は
スマホで
チェック!



値は変わらずに目指すのか。

A 令和3年度の公共施設等総合管理計画で、37年間で保有総量の削減目標を15%、約8万2千平方メートルとしている。今後とも変わらずに目指す。

Q 一方的解除においての損害賠償額をどの程度見込んでいるのか。

A 損害が生じた側でしか算出できず、市は見込んでいない。

Q 弁護士に賠償額の相談はしていないのか。

A 相談しているが、弁護士といえど相手に生じた損害が分かるものではない。

Q 契約解除にあたり、見込み額は試算すべきではないか。

A 試算して解除の理解を求めることが適当かどうか評価が分かれる。

Q 昨年度末までの代理人弁護士の費用を市民に公開しないか。

A 市の決算状況は、決算書や成果説明書として公開している。

Q 決算書や成果説明書の公開で、市民に伝わっていると思うか。

A 関心のある市民は、議会の傍聴や決算書の閲覧などで、承知していると考えている。



新政令和
青山 繁
議員

行政による複数年にわたる計画的な防犯カメラの設置を

Q 防犯カメラの設置に向けた町内会への補助金制度が始まって以降、設置台数の推移はどのようか。

A 平成28年度は7台、29年度は10台、30年度は10台、令和元年度は4台、2年度は4台、3年度は1台、4年度は3台となっており、累計で39台。

Q ほぼ1桁台で低迷し、累計は39台と極めて少ないが、どう考えるか。

A 補助金の助成はあるものの、購入費の負担や、市民から町内会への設置要望が少ないなど周知が十分図られていない点があると考ええる。

また、ライオンズクラブから19台寄贈いただき、希望のあった町内会に設置していることも要因と考える。

Q 町内会長は、補助金の交付申請、実績報告書の提出など、たくさん事務作業を行う必要がある。最近は町内会長の事務量を減らしていく流れであるが、どう考えるか。



詳細は
スマホで
チェック!



A 書類作成など、一定の負担は発生するが、できるだけ簡素なものにしていく。

Q 西三河9市では、半数以上の5市において、市が直接設置を行っているが、どう考えるか。

A 犯罪発生状況や地域の実情に合わせた対応を行っていると考ええる。

Q 行政が責任を持って、市内全体の状況を踏まえ、複数年にわたり計画的に設置していく必要があると考ええるがどうか。

A 地域の実情や危険箇所などを熟知している町内会、住民の目による犯罪者への抑止効果と合わせて、防犯カメラでの防犯力向上が図れると考えており、町内会主導による防犯カメラの設置が有効と考え、現時点では、市が設置する計画はない。



その他の質問

・「墓地の経営に関するアンケート」の結果(お墓のこと その6)

一般質問 Q & A



西尾みらい
山本 道代
議員

職員モチベーションを高めるために

Q 職員の個々のモチベーション向上、どのような研修をしているか。

A メンタルヘルス全般に関する一般的な研修のほか、職員個人がストレスを軽減する手法を学ぶセルフマネジメント研修や、レジリエンス研修と題した、逆境や強いストレスなどに直面した際にしなやかに適応し、速やかに立ち直る力を養うことを目的とした研修を実施することで、ストレスとうまく付き合いながら、能力を十分に発揮できる職員の育成に取り組んでいる。

Q 今後の課題は。

A 従来の能力向上型の研修のほか、物事の受け止め方など『心のあり方』に着目し、心を落ち着かせて働くためのセルフマネジメント研修や、職員が自らの仕事に対する認知や行動を変えることで、目の前の仕事をやりがいのあるものへと変えるジョ



詳細は
スマホで
チェック!



仕事と育児・介護の両立支援に対する環境整備に ついで

Q 市内業者に対して育児や介護における離職防止についての現状は。

A 市内には、女性活躍推進法や次世代育成支援対策推進法に基づく国や県の認証、または登録をうけている企業が65社ある。今後は、育児や介護における離職防止対策を含めた雇用の確保・雇用環境の整備につながる施策を実施していきたいと考えている。

Q 市内業者に対する本市の取組は。

A 新しい働き方となる『ショートタイムワーク』では、市内17社を対象に導入セミナーを実施。申込みがあった2社で従業員を募集したところ、22人の応募があった。面接により3人を採用し、7月から雇用を開始している。



新しい風
牧 一心
議員

安心できる子育て環境に 向けて

Q 保育園の副食費無償化を検討しないか。

A 完全無償化には毎年1億500万円、2人目以降では毎年7千万円程度が必要になる。老朽化した施設の改修等、安心・安全な保育環境の整備を進めていくことを優先したい。

Q 潜在保育士の掘り起こしのために子連れ出勤を可能としないか。

A 現段階では受入体制の整備には課題があると認識しているが、今後の人材確保策の中で参考の一つとしたい。

Q ひとり親家庭の学習塾補助を検討しないか。

A 市の財政事情や近隣市町の動向を注視しながら研究したい。

Q 制服や用具のリユースに取り組まないか。民間からの提案があれば市は協力体制をとることができるか。

A リユースについては在校生に提供する活動を実施している。民間事業者から提案された際は、関係部局と共に研究していく。



詳細は
スマホで
チェック!



厳しい暑さをしのぐ断熱 工事の促進に向けて

Q 本市の学校内において室温調査をしているか。

A 学校環境衛生基準には「17度以上、28度以下であることが望ましい」とされている。各学校では、担任が日々の健康観察の中で教室環境の日常点検をしている。冷房及び暖房を使用する場合は、気温のみで判断せず、児童・生徒が衣服による調節をできるように指導をしている。

Q 全国の学校では、校舎で断熱工事をしているが、本市も行ってはどうか。

A 工事作業中のけがや事故、学校施設としての性能面や安全面からの不安がある。

Q 省エネ・断熱改修効果を実感してもらうために、体験型コンテンツを整備しないか。

A 環境学習講座のメニューに取り入れるなど、省エネや断熱効果に関して学習する機会を設けていくことは可能かと思う。

一般質問 Q & A



日本共産党西尾市議団
牧野 次郎 議員

公契約条例制定後の労働者賃金水準引き上げを

Q 公契約条例（市の発注工事や委託事業で適正賃金を確保し、事業品質確保と地域経済に寄与することを目的とする）の県内の状況はどうか。

A 愛知県はじめ19自治体で制定され、豊川市と豊橋市が（労働報酬下限額を設定する）賃金条項型となっている。

Q 賃金水準引き上げの効果検証はされているか。

A 行っていないが、事業者へのアンケートでは労働環境整備に「効果があった」との回答は24%であった。

Q 条例改正に向けてのプロセスはどうか。

A 実施したアンケート結果で効果検証するとともに、関係団体の意見聞き取りなどを実施し判断する。

Q 理念型から実効性のある賃金条項型にする考えはどうか。

A 現時点で賃金条項型への見直しを決めてはいないが、事業者の団体・労働者の団体への意見の聞き取り



詳細は
スマホで
チェック!



を実施する。

18才まで通院医療無料化などで子育て支援を

Q 子ども医療費無料制度を通院でも18才まで拡充しないか。

A 県内市町村の動向や県への拡充要望など注視している。市は、拡充の必要性は否定しないが、慎重に判断する事項で、現時点では拡充は考えていない。

Q 県内市町村の状況はどのようか。

A 来年1月には54市町村中31市町村が実施する予定である。

Q 学校給食費の県内の順位は。また、学校給食の完全無償化をしないか。

A 県内比較では高い方から小学校は14番目、中学校は12番目で、西三河では、高い方から小学校中学校とも2番目だが、教材の充実、学校施設整備を優先する考えである。

国は、地方自治体の給食費無償化の現状の調査を行っているので、国の動向を注視する。



無所属
杉浦 功記 議員

地域経済の現状分析と課題対応に向けて

Q 地域経済循環の生産面、分配面、支出面における、市の課題は。

A 生産では第3次産業の付加価値が全国的にも非常に低いこと。分配は雇用者所得が高く課題は特になく。支出では市内消費が少なく甚大な消費流出が起きていること。

Q 第2次産業の高い付加価値が適切に所得として分配され、消費のポテンシャルは高い一方、それが市内の第3次産業の消費に結びついていない課題に対し、どう対応するか。

A 魅力的な店舗の増加が必要で、特産品や観光資源を活用した商品等の開発と販売促進支援、頑張る事業者に寄り添った支援を行う。

Q 地域経済の課題に対し、西尾末来共創拠点の支援内容はどのようか。

A 相談支援では、課題の可視化と解決への助言、専門家や専門機関紹介、起業時の事業内容改善等。コミュニケーション形成では、異なる事業者を繋



詳細は
スマホで
チェック!



げたイノベーション創出等。

公共性と公益性を具備した官民連携を

Q ビッグモーター問題のように公共性や公益性の面で官と民には認識レベルに差がある。当市でも西尾市PFI、監査請求、勧告、一部敗訴とも言える情報公開訴訟等が起きた。契約や情報公開等、行政の根幹部分に対し職員が知識を持たなければ、民間との連携事業を法令順守で行えないと考えるが、どうか。

A コンプライアンス順守とガバナンス強化が重要であり、官民連携推進メンバーに研修を実施する。

一向に進まない市道岡島高河原線支線問題の今後について

Q JA高河原センターへ入るこの道は公益性が低いと判断せざるを得ず、JAが乗入口として買取るべきだと考えるが、そう交渉しないか。

A 選択肢の一つとして協議する。

一般質問 Q & A



公明党西尾市議員
大河内 博之

利用しやすい学校体育館 に向けて

Q 学校開放事業において、学校の備品の利用については要項上認めていないようだが、扇風機の利用を認めるために要項の改正をすることは考えはないか。

A 最近の暑さは尋常でなく、利用者からの要望もあり、熱中症対策として、学校の備品である扇風機の使用ができるよう、教育委員会と調整し、要項の改正をしていく。

Q 小・中学校の体育館への空調設備の整備に向けた計画を策定しないか。

A 小・中学校の体育館において、空調設備の整備ができることが理想ではあるが、一方で多額の費用が必要となり、そのことが課題となっている。

体育館の空調設備については、特別教室の空調設備の整備完了後の令和10年度以降に財政状況を見極めながら、余裕があれば検討していく。



詳細は
スマホで
チェック!



聴覚障害者への意思疎通 支援と手話言語の理解促 進に向けて

Q 手話言語への理解促進と普及を図るため、「手話言語の国際デー」のライトアップに協力する考えはないか。

A 市では、光の装飾により夜間観光の推進を図ることを目的に、令和5年3月にLEDカラー投光器を購入しているため、これを活用したブルーでのライトアップの実施を検討する。

なお、実施に向けては、西尾城を候補地として所管課に協力を求め、今年度から実施できるように調整を進め、実施のめどが立てば、西尾市LINE公式アカウントでメッセージを配信するなどして市民に周知を図っていく。



自民隆盛会
神谷 雅章

インフラ整備に伴う まちづくりを

Q 国道23号名豊道路幸田桐山インターチェンジから都市計画道路衣浦蒲郡線の宮迫地区までを結ぶ名浜道路の今後の日程はどのようか。

A 道路予備設計及び現地測量を進めており、今後は縦断測量や横断測量に着手していく。

Q 名浜道路の計画に対し、どのような効果を期待するのか。

A 吉良・幡豆地区の地域活性化と周辺地域への企業進出を期待する。

Q 名浜道路の計画に併せて、将来の幡豆地区へのまちづくりを考え、国道247号線までの県道幸田幡豆線の整備を検討しないか。

A 整備の必要性が生じたら、県へ整備計画の要望を考へる。

Q 安城一色線が供用開始となった時点で本市の「まちづくり」や期待する効果は何か。

A 一色地区から国道23号名豊道路へのアクセスが向上することから、来訪者の増加や企業活動の効率化等のほか、新たな土地利用による沿線地域の活性化などが期待できる。

Q 安城一色線の橋梁整備をいち早く行うべきではないか。



詳細は
スマホで
チェック!



A 県に事業推進を強く要望していく。
Q 都市計画道路斉藤一色線の今後の整備計画はどのようか。

A 一部現道を利用したルートを含め、路線計画を検討する。

Q 市道細池須脇6号線は、いつ供用開始となるのか。

A 令和7年度末の完成、供用開始を目標に進める。

Q 将来を担う子どもたちの意見を取り入れ、市道細池須脇6号線の沿線の活性化などに「にぎわいの創出」を図るべきではないか。

A 学生議会や若者と語るまちづくりトークなどの意見を今後の新たな計画等の策定や見直しの際に参考としていく。

Q 駿馬瀬戸地区への企業進出がされる中、多くの関連企業の進出も視野に入れた国道23号名豊道路須美インターへの道路整備計画を再度検討すべきではないか。

A 過去に用地取得が困難な状況であるため、事業廃止となった。今後は、土地利用の変化に注視し、整備の可能性を検討していく。

その他の質問

- ・消えている「横断歩道」などの路面標示整備は。
- ・田貝交差点・熱池交差点など右折矢印信号の点灯時間の改善策は。

一般質問 Q & A



無所属
鈴木 規子 議員

児童クラブの現況の改善策について

Q 児童クラブの民間委託について、6月以降どのような検討をしたか。

A 保護者と勤務する職員にアンケート調査をしたが、結論を出すにはデータ不足だったので再考する。

Q 民間委託すると、今より3500万円高くなるという。増額を覚悟しているなら、委託する前に、市ができる改善を提案する。委託の要因は、職員人材の確保難で、退職も多いときく。Wi-Fiパソコン整備で、労働環境や連絡方法を改善しないか。委託だとこうしたシステムには350万円もかかるというが。

A 通信設備の必要性は分かっている。

Q 市の労務管理システムを使い、保護者との連絡には教育委員会が導入したアプリ「すぐる」を使えばすぐできるし、費用もかからない。委託を進める前に、市にあるものを使って改善を図るべきではないか。

A 委託すれば業者は自分のシステムを使うから、市がやると二重投資



詳細は
スマホで
チェック!



になるので難しい。

Q 今の研修費用は32万円程度で少ない。発達に困難を抱えた子どもも増えている中、もっと費用をかけて研修を充実させるべきではないか。

A 業者は研修にZOOMなども使っているが、市では難しい。

Q 市も有料ネット広告で求人募集をしないか。週3日以上働く人だけでなく、2日でも採用し、賃金も他市のように工夫して増やさないか。

A ハローワークでも無料ネット広告を行っている。保育士など職員の賃金アップは難しい。

Q 現況を改善する提案をしているのに、できない理由ばかりを並べている。委託ありきの市長の指示か。

A そんなことはない。

Q 保護者からは委託を心配する声もある。委託はするとしても4分の1程度にするべきではないか。

A これから保護者にも職員にも説明を尽くしていく。

Q これでは「民間に丸投げ」と言われかねない。やれることはやってみると市長は指示すべきではないか。

A やるべきことには予算措置する。



新政令和
中村 直行 議員

重層的支援体制整備事業の必要性は

Q 重層的支援体制整備事業の概念とその地域社会における重要性は。

A 重層的支援体制整備事業は、地域の多様な支援ニーズに対応するための一つの有力な手段とされている。介護や障害、子育て、生活困窮などの分野で、既存の支援体制を生かし、地域住民と関係機関が協力して地域福祉を推進する体制作りが重要と考えている。

Q 本市の現在の支援体制と比較して、重層的支援体制整備事業がもたらす主な改善点はどのようなか。

A 既に多機関での協議や横断的なケース検討を行っており、基本的な重層的支援体制が整っている。改善点として、どこに相談したらよいかと迷わせないことが必要で、各窓口が広い視野で相談を受け止めるとともに、速やかに関係機関で情報を共有する仕組みが必要である。また、重層事業に移行することで、国の補助金が一体化し、多分野での活動が容易になるというメリットがある。



詳細は
スマホで
チェック!



整備の重要な点としては、庁内における合意形成と連携強化、及び調整機能を担う人材育成と考える。

Q 事業の必要性について、市長の理解と認識は。

A 国が推進する重層的支援体制整備が有効であると認識しているが、その組立て方は一様ではなく、市独自の強みを生かしながら、地域に合った包括的な支援体制を模索する方針である。社会福祉協議会と連携し、民間の意見も取り入れていく。

フレイル予防の取組で介護予防の推進を

Q フレイルの現状、特に高齢者におけるリスクと課題は。

A フレイルの特徴は、運動機能の低下である。最も注意すべき症状は、転倒や骨折、低栄養や認知機能の低下であり、高齢者に運動機会の提供が重要である。

Q フレイルチェック事業として「フレイルサポーター」を養成しないか。

A 現状でフレイルチェックの体制はとれているため「フレイルサポーター」の養成は考えていない。

一般質問 Q & A



新しい風
福西 章人
議員

コロナ禍を乗り越えた 一般介護予防事業のさら なる充実と推進について

Q 本市の一般介護予防事業の活動別利用者数の推移はどのようか。

A シルバー元氣教室は、コロナ禍前の令和元年度は延べ1万1917人だったが、コロナ禍に収束の兆しが見えた令和4年度は8178人となった。まちの体操教室は、元年度が1万995人、4年度は1万7108人であった。高齢者通いの場合は、元年度が2万6475人、4年度は2万5429人であった。利用者数の推移は、各事業とも同様の傾向である。

Q 今後の参加率向上へ向けた取組の強化をどのように考えているか。

A 健康づくり教室等の場合、広報に令和4年度は6月・9月・12月・3月号に、今年度は6月・7月・9月号に掲載し、周知を図っている。高齢者が可能な限り住み慣れた地域



詳細は
スマホで
チェック!



で暮らし続けられるように、地域包括ケアシステムを推進するためには、地域に根差した身近な場所で介護予防サービスが受けられる体制づくりがますます重要になると考えている。今後も事業のPRに努めるとともに関係機関、民生委員、地域団体等との連携を密にし、各種介護予防サービスの充足を図っていく。

Q 高齢者通いの場の運営スタッフの高齢化や人材確保が課題の一つだが行政も協力できないか。

A 本スタッフも高齢化が進み、後継者の確保や代替わりするタイミングを課題としているグループの声を聞いている。一度、全グループにアンケートを取り、抱えている課題や必要な支援を調査したいと考えている。



深刻な燃えるごみ問題を 考える

Q 広報にしておで家庭ごみの排出量の多さを県内他市と比較しているが、多さの原因は何か。

A 令和4年度に実施した家庭ごみの組成調査で、家庭から排出される燃えるごみの袋の中には、紙類やプラスチック製容器包装など資源になり得るものが約42%含まれ、分別が徹底されていないことが、家庭ごみの多い要因であると分析している。

Q 半田市は、家庭ごみの排出量を減らしたが、その取組などは確認しているか。

A 令和3年度から家庭ごみを有料化し、ごみ指定袋の値段を上げたことで減少したものと聞いている。

Q 雑がみの収集量、達成度などの成果や目標はどのようか。

A 紙類の分別を推進するため、令和4年8月に雑がみ分別袋を全家庭に配布した。分別の徹底を呼びかけたところ、収集量は増加し、3年度の237トンに対して4年度は



自民隆盛会
永山 英人
議員



詳細は
スマホで
チェック!



386トンとなり、149トン増加した。回収量の目標は年間600トンで、目標達成には月50トンが必要。西尾市LINE公式アカウントやホームページで毎月、雑がみ回収量の速報を伝えて分別を呼びかけている。

Q ごみの分別は、市民の協力と継続が欠かせない。さらに分別を徹底するための方策は考えているか。

A ごみの分別を説明する機会を増やすことが重要であると考え、出前講座を多く実施することを計画している。主なものは、「ごみの出前講座」の実施や、市政70周年記念イベント「ごみフェス」での分別体験、前年度から実施の商業施設での雑がみ分別協力の呼びかけやレスキュー530などである。

Q 現在、検討していることは何か。

A ごみ問題を考える市民会議から提案の「市民が取り組みやすい生ごみの減量方法」を検討中。情報発信に加え、ごみの減量やリサイクルに取り組みやすくなるような環境整備を推進していく。

トピックス

ICTを用いた業務の効率化

市議会でのタブレット端末の活用についてご紹介します！

西尾市議会では、ICTを活用した議会活動及び議員活動を目指すことを目的に、平成30年2月からタブレット端末を導入しました。

令和5年6月からの会議資料の一部をペーパーレス化とし、タブレット端末の運用を進めています。



タブレット端末を導入した理由と活用方法は？

■ペーパーレス化による資源の節約

これまでは、開催される会議ごとに説明資料など膨大な紙資料を印刷していましたが、データ化して閲覧することにより、印刷コストの削減となっています。

■資料の視認性が向上

会議では、画面共有ができるため、資料のどの部分を説明しているかを一目で把握することができます。また、写真や図解などもカラーで表示できるほか、文字の拡大などもできることから、資料の視認性が向上しました。

■情報伝達の迅速化と効率化図る

これまでは、印刷した資料を各議員に配付しておりましたが、タブレット端末のアプリを活用することで一斉にデータで配付することができ、情報共有の迅速化と効率化が図られました。また、資料のデータ管理等の業務の効率化を図ることができ、膨大な資料から必要な資料をいつでも、どこでも簡単に検索することができるようになりました。

■議会事務局からの連絡・通知等

会議等の通知をメールで行うことで、連絡のスピードが向上しました。また、カレンダー機能を活用することで、スケジュール管理ができるようになりました。

■災害時等の円滑な情報伝達

災害時発生時の非常時において、オンライン会議の開催や情報収集・情報伝達を行うことができるようになっています。

ペーパーレス化により、議員1人当たり年間約6千枚の紙の節約が可能となり、環境負荷の低減が図れます。今後は、ペーパーレス化会議を運用しつつ、タブレット端末の多様な活用を検証しながら、より一層の議会活動、活性化を進めてまいります。



タブレット端末を活用し、会議を行っている様子

決算認定

令和4年度決算を認定

令和4年度一般会計・特別会計・企業会計の歳入歳出予算の執行実績である決算を審査するため、9月12日～15日の4日間にわたり、予算決算委員会各分科会にて審査しました。

慎重審査の結果、全ての会計が適法かつ正当に行われたものであると認定しましたが、ここでは、その審査した内容の一部を紹介します。

企画総務分科会

Q 個人市民税の収入未済額と不納欠損額の人
数、1人当たりの最高額、要因はどのようか。

A 収入未済額の人数は、3799人で、一人当たりの最高額は380万6924円。滞納繰越分の調定額が減少したことが要因と考えられる。また、不納欠損額の人数は459人で、1人当たりの最高額は806万5178円。要因は執行停止と消滅時効によるものである。

Q こころの定期健康診断業務委託料437万
5932円の受検状況はどのようか。

A 対象者2381人に対し、2317人が受検し、受検率は97.3%であった。全受検者の12.3%に当たる286人が高ストレスに該当し、20%に当たる463人が中ストレス者に該当するという結果である。カウンセリングを実施し、ストレス軽減対策を講じている。

Q 消防団の定員に対する充足率はどのようか。

A 一色消防団110人、吉良消防団61人、幡豆消防団54人の計225人で、定員296人に対する充足率は76.0%。機能別消防団は80.1%である。



Q 非常備消防費の1300万円増の要因はどのようか。

A 消防団員数の増加及びコロナ禍により中止、若しくは自粛・規模縮小していた各種の活動や行事が再開されたため、報酬及び費用弁償が増加した。

Q 防災倉庫の備蓄充足率及び今後の計画はどのようか。

A 令和4年度末で食料は、95.3%、飲料水は40.0%となっている。食料は、令和5年度末まで充足率100%。飲料水は、令和12年度末までに100%にする計画である。

文教交流分科会

Q 子ども・若者総合相談センター「コンパス」運
営委託料3911万円について、前年度(2300万
円)との違いや成果は。

A 利用者は前年度175人に対し328人で、当初想定を大幅に上回ったものの、待たせることなく対応し、126人の相談内容が解決できた。SNSやオンラインゲームの活用により直接相談も増加した。前年度状況を踏まえた相談員の増員、開設時間の1時間延長、相談カード配布など施設PRに努め、学校との連携強化を図った。

Q 教員の不足や残業時間の状況は。

A 県の基準に対し5人の欠員だったが学校運営に支障はなかった。教員の負担軽減のため、市独自で非常勤として教科担任14人、少人数指導教員25人を配置した。月80時間超の教員の割合は7.4%、その内100時間超は2.2%。当年度から「働き方改革プロジェクトチーム」を立ち上げた。

Q 学校体育施設解放にあたり、鍵の管理人への
報酬はいくらだったか。

A 管理指導委員41人に計920万円支払った。

Q 男性保育士数と、その中で育休取得人数は。

A 9園に10人を配属。1人が育休を取得し、代替職員の確保はできなかったが、主任や保育パート等の保育士で対応した。



Q 観光推進への特徴的な取組は。また、観光宣
伝業務委託料(1681万円)が大幅増加したが、
効果は。

A ナイト観光の推進が特徴的で、歴史公園で実施したプロジェクションマッピングでは、2日間で8千人以上の来場者があり好評だった。委託料増加の要因はeスポーツ事業1498万円であり、イベントの観覧・視聴者は約1千人で、関心の高さを測ることができた。

Q 佐久島への定期船の団体券利用者数が伸びた
要因は。

A 観光需要喚起策である政府の全国旅行支援を利用した佐久島へのツアー企画が増加したため。

¥ 決算認定

厚生環境分科会

Q 放射線治療装置の主な用途、年間維持費、使用件数と収益は。

A 高精度の放射線照射により、乳がんや肺がんの治療に使用。副作用を軽減しながら治療効果を高められる。維持費は令和6年度から年間3千万程度、令和5年8月現在で53症例の治療を行い、年間100症例、約5千万円の収益を見込む。

Q 実質的に24年連続の赤字だが、医業損失の原因と改善策は。

A 医師不足のため、患者数が減少しており、医師確保が最大の課題である。経営強化プランを推進し、医師・看護師の確保、安城更生病院や地域の開業医との連携強化。レーザーセンターなど専門性を高めた診療体制を強化、診療機能の充実である。

Q 研修医で市民病院に就職する医師は何人いるのか。

A 令和4年度は研修医4人のうち内科医1人となった。

Q 市民病院の地域医療連携の進捗状況はどのようなか。

A 毎年、開業医訪問を実施しており、令和4年度は50件であった。また、安城更生病院と医師派遣協定を結び、脳神経外科と心臓血管外科に医師派遣を受けている。

Q 市民病院における患者負担分未収金の状況はどのようなか。

A 令和4年度の未収金は、入院分904件で4739万2807円、外来分3656件で2295万3975円の合計4560件で7034万6782円となった。



Q 国民健康保険税の令和4年度の滞納状況はどのようなか。

A 収入未済額は、3億7715万5649円で、滞納者は2538人。前年度比で280人減、金額は3803万7606円の減であった。

Q がん患者アピアランスケア支援事業について、38件申請されたが、その評価はどのようなか。

A 申請は60件を見込んでいたが、38件にとどまった。広報にしおやホームページ、病院で紹介をしており、今後は申請が増えるものとする。

Q 一色町生田地区の産業廃棄物処分場跡地周辺の環境調査結果はどのようなか。

A 環境調査検証会議で協議しており、現状では跡地に起因する周辺的生活環境への影響は生じていない。

経済建設分科会

Q 市役所内の男女共同参画の現状はどのようなか。

A 課長補佐以上が男性で27.9%、女性で11.2%となっており、まだまだ女性職員の管理職の割合は低い状況にある。アンケートによれば、管理職に就くことや昇進への希望を望まない割合は、男性が17.3%、女性が40.9%となっている。女性職員は管理職を望まない傾向にあり、職員自身の経験を積む中で、意識改革が必要と捉えている。

Q 寺津漁港海岸地震対策事業の進捗状況はどのようなか。

A 平成27年度から工事に着手しており、令和4年度末の整備状況は、計画延長2150mに対して745mが整備済みであり、進捗率は約35%となっている。令和元年度から補助金が大幅に増額されており、今後も同様な予算措置がされれば、あと、7から8年で完了するものと考えている。

Q ブロック塀等撤去費補助事業について、通学路での対象となる撤去箇所数はどのようなか。

A 令和4年度実績は468万9千円で62件であった。平成30年度に調査を行った小学校と中学校の通学路にあるブロック塀の危険箇所は756箇所あった。そのうちブロック塀など撤去の実績は、平成30年度が27件、令和元年度が18件、2年度が17件、3年度が9件、4年度が2件で合計73件である。

Q 名鉄西尾・蒲郡線の利用負担金の積算根拠と、名鉄との協議はどのようなか。

A 平成22年度から線路及び電路の材料費及び工事費、減価償却費のうち構築物分に係る費用を西尾市と蒲郡市が負担することとされ、2億5千万円を路線延長や駅数などで算出した負担割合により、西尾市が1億5068万7千円、蒲郡市が9931万3千円を毎年支払っている。なお、令和8年度以降の存続については、利用者の減少や燃料費の高騰などから、現在と同条件の運行は大変厳しいことが想定されている。



Q 商工振興費のビジネス支援拠点設置準備事業の詳細と効果はどのようなか。

A 事業者候補リストの作成や事業者ヒアリング、アンケートを実施した。効果は、事業者が抱える様々な課題の把握、行政に求める支援などが確認できた。これまで市内事業者のデータベースはなかったが、今回の調査により基礎となるデータが収集できたのは大きな成果と認識しており、今後は、このデータを中小企業支援に活用していく。

審議結果

01 / 7月臨時会(7月5日)で審議され可決された議案

条例など	工事請負契約について 財産の取得について
------	-------------------------

02 / 7月臨時会(7月18日)で審議され可決された議案

条例など	工事請負契約について(大規模改修電気設備工事) ※西尾市文化会館 工事請負契約について(大規模改修舞台音響設備工事) ※西尾市文化会館 工事請負契約について(大規模改修舞台照明設備工事) ※西尾市文化会館
補正予算	令和5年度西尾市一般会計補正予算(第6号)

03 / 9月定例会で審議され可決された議案

★西尾市教育委員会委員に藤井遼太郎氏を任命することに同意しました。

条例など	西尾市未来共創拠点の設置及び管理に関する条例の制定について 西尾市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について 西尾市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について 西尾市文化会館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 西尾市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について 西尾市災害派遣手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について 市道路線の廃止について 市道路線の認定について 工事請負契約について(追認) 令和4年度西尾市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 令和4年度西尾市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 工事請負契約について 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書
補正予算	令和5年度西尾市一般会計補正予算(第7号) 令和5年度西尾市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 令和5年度西尾市介護保険特別会計補正予算(第1号) 令和5年度西尾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 令和5年度西尾市佐久島診療所事業特別会計補正予算(第1号) 令和5年度西尾市一般会計補正予算(第8号) 令和5年度西尾市一般会計補正予算(第9号)
決算	令和4年度西尾市一般会計歳入歳出決算の認定について 令和4年度西尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 令和4年度西尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について 令和4年度西尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 令和4年度西尾市佐久島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について 令和4年度西尾市病院事業会計決算の認定について 令和4年度西尾市水道事業会計決算の認定について 令和4年度西尾市下水道事業会計決算の認定について 令和4年度西尾市渡船事業会計決算の認定について



04 / 9月定例会に提出された陳情書

最低賃金の大幅引上げと全国一律化、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情	不採択
公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情	不採択
住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情	不採択
地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	不採択
保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情	不採択
介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、複数配置をあたりまえにすることを求める意見書の提出を求める陳情	不採択
「1年単位の変形労働時間制」導入のための条例制定ではなく、教職員の長時間過密労働解消のための施策を求める意見書の提出を求める陳情	趣旨採択
定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書	採択
私立高校生の父母負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために西尾市独自の授業料助成制度の拡充を求める陳情書	趣旨採択
愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	趣旨採択
国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	趣旨採択

審議結果

05 / 議員の賛否の分かれた議案等

7月臨時会および9月定例会へ提出された議案、陳情のうち、賛否が分かれたものについて掲載します。

議案名	議決結果	会派・議員名・表決態度																													
		新政令和					新しい風				西尾みらい		自民隆盛会		公明党		無所属														
		神谷庄二	鈴木正章	稲垣一夫	松井晋一郎	渡辺信行	本郷照代	青山繁	中村直行	中根志信	中根文彦	小林孝幸	福西章人	牧草一心	磯部雅弘	藤井基夫	黒辺一彦	山本道代	永山英人	神谷雅章	松崎隆治	牧野次郎	前田修	大河内博之	大塚久美子	筒井登	鈴木規子	中村眞一	犬飼勝博	佐々木映美	杉浦功記
介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、複数配置をあたりまえにすることを求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	欠席	×	×	欠席	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	欠席	○	×	×	○	○	
西尾市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	欠席	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	欠席	×	○	○	○	
保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	欠席	×	×	欠席	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	欠席	○	×	×	○	
「1年単位の変形労働時間制」導入のための条例制定ではなく、教職員の長時間過密労働解消のための施策を求める意見書の提出を求める陳情	趣旨採択	趣旨	趣旨	欠席	趣旨	趣旨	欠席	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	○	○	趣旨	趣旨	欠席	○	趣旨	趣旨	○	
私立高校生の父母負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために西尾市独自の授業料助成制度の拡充を求める陳情書	趣旨採択	趣旨	趣旨	欠席	趣旨	趣旨	欠席	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	○	○	趣旨	趣旨	欠席	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	
愛知県私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	趣旨採択	趣旨	趣旨	欠席	趣旨	趣旨	欠席	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	○	○	趣旨	趣旨	欠席	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	
国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	趣旨採択	趣旨	趣旨	欠席	趣旨	趣旨	欠席	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	○	○	趣旨	趣旨	欠席	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	
最低賃金の大幅引上げと全国一律化、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	欠席	×	※	欠席	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	欠席	×	×	×	×	
工事請負契約について(追認)	可決	○	○	欠席	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	欠席	×	×	○	×	
公契約事業者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	欠席	×	×	欠席	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	欠席	×	×	×	×	
住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	欠席	×	×	欠席	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	欠席	×	×	×	×	
地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	欠席	×	×	欠席	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	欠席	○	×	×	×	
令和4年度西尾市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	欠席	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	欠席	×	○	○	○	×
令和4年度西尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	欠席	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	欠席	○	○	○	○	
令和4年度西尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	欠席	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	欠席	○	○	○	○	
令和4年度西尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	欠席	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	欠席	×	○	○	○	

「○」…賛成(採択) 「×」…反対(不採択) 「趣旨」…趣旨採択 「※」…議長のため採決に加わりません。

※一般質問の記事については、質問議員から提出された原稿をもとに作成しています。

西尾市議会 広報委員会

電話 65-2182
FAX 54-0311

- ◎委員長 ○副委員長
- 藤井 基夫
 - 杉浦 功記
 - 中村 直行
 - 松崎 隆治
 - 前田 修
 - 福西 章人
 - 小林 孝幸
 - 青山 繁
 - 大塚久美子
 - 稲垣 一夫

広報委員

三河一色大提灯まつり、はずすトーンカップ、ハワイアンフェスティバル、米津の川まつり、その他多くの夏のイベントを経て、秋の気配にも寂しさを覚える今日この頃ですが、余韻に浸っている暇はありません。より良い市政に向け、備えます、常に。

先日出席したボイスカウトの記念式典では「備えよ、常に」と準備の大切さが語られていました。この9月定例会しかり、準備の大切さは事ある毎に痛感します。例えば、一般質問は活動発表のようなもので、日頃の調査研究があればこそ有効な時間となります。

決算審査も資料を机上で読むだけでは、表面的な理解に止まります。市の施策に常々目を向けることで、キラリと光る質疑につながります。このように議会傍聴や議会だよりを通じて、各議員の準備の具合をご確認いただけるかとします。

編集室

No.152



お知らせ

次回12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27 議会運営 委員会	28	29	30 本会議 予算決算 委員会	12/1 本会議	2
3	4 本会議	5 本会議 (予備日)	6	7 厚生環境 委員会 ・分科会	8 文教交流 委員会 ・分科会	9
10	11 経済建設 委員会 ・分科会	12 企画総務 委員会 ・分科会	13	14	15 予算決算 委員会	16
17	18 議会運営 委員会	19	20	21 本会議	22	23

会議は通常 10 時開会です。
※予定は変更になる場合があります。

議会を聴く

西尾市議会は、『開かれた議会』を目指し、議会を公開しています。傍聴をご希望の方は、議会開催日に議会事務局(6階)までお越しください。

- ・議場での傍聴………本会議
- ・委員会室での傍聴…常任委員会、議会運営委員会、
全員協議会、部会

表紙の写真

9月10日に、第24回はずストーンカップチャレンジレース2023が会場を寺部海水浴場に変え、4年ぶりに開催されました。手づくりのいかに乗り、残暑厳しい海でひたすら漕ぎ、暑い・熱い、幡豆の1日でした。

📷 表紙に掲載する写真を募集します

「にしお市議会だより」は市民の皆さまにより身近に感じていただくため、表紙に掲載する写真を募集します。テーマは「あなたが好きな西尾のこんなところ」です。撮影された方のお名前・作品タイトルなどを裏表紙で紹介させていただきます。応募にかかる詳細については、議会事務局 (Tel65-2182) にお問い合わせください。次号は、あなたの写真が表紙を飾るかもしれません。ぜひご応募ください。

議場見学をしませんか？

町内会などの行事、ご家族、ご友人同士でお誘いあわせの上、お気軽にお越しください。詳しくは、議会事務局 (Tel65-2182) へお問い合わせください。



議会を見る

放送チャンネル

ケーブルテレビ「キャッチネットワーク」
地上デジタル 112ch

12月定例会放映日時

- 12月 7日(木) (12月1日一般質問)
- 12月12日(火) (12月4日一般質問)
- 12月25日(月) (12月5日予備日)

※いずれも10時から放送します。

※放送日時が変更となる場合があります。

インターネットで議会を見てみよう

西尾市ホームページまたは
右記QRコードからアクセス
できます。



音訳版・点字版のにしお市議会だより

目が不自由な方などのために、音訳版・点字版のにしお市議会だよりを作成し、お渡ししています。希望者は市社会福祉協議会へお問い合わせください。音訳版は市ホームページで公開しています。

市社会福祉協議会
(☎56・5900/総合福祉センター内)
閩福祉課 (☎65・2113)

